



▲県議会は、全会派が一致して、地方自治法98条に基づく検査を議決し、県出資団体について橋本知事に報告を求めた。常井洋治議員は、県出資団体等調査特別委員会で、県住宅供給公社、県開発公社、県土地開発公社の2,500億円に及ぶ損失補償（県が銀行等に保証）などについて、知事（手前右端）の責任と今後の債務処理方針を質した。（21年7月）

## — 県立中央病院 —

# 「県立病院」としての存続に全力投球！

県立中央病院は、平成17年9月29日「県立病院の経営形態に関する検討委員会」からの報告を受け、18年度から21年度までの4年間で病院改革を実行しています。その報告の中には、「4年を目途に経営改善が図られない場合には、民営化を含めた他の経営形態への移行を検討すべきである」とされています。

これまで、地方公営企業法の全部適用（県企業局と同じ形態）を実行し、病院局を設置して、古田病院事業管理者、永井院長を先頭に必死の経営改善を進めてきました。

21年度は、最終年度となり、「県立」として存続か、民営化等の形態に移るのか正念場を迎えています。

同病院は、「救急患者は断らない」を基に、救急センターの増設を進めており、循環器外科の開設を検討するなど、常井洋治議員が求めてきた「救命救急センター」とそんな色のない診療体制になりつつあります。がん治療では、「都道府県がん診療連携拠点病院」として、県内の中心的病院になっています。

常井議員は、何としても、県設置・県営の「県立病院」として存続させるために、頑張っております。皆様のご理解とご支援をお願いいたします。



# 一緒に創ろう! ふるさとの輝く新時代

平成21年第2回定例県議会を終えて

平成21年第2回定例県議会は、6月5日から6月22日までの18日間開かれました。21年度補正予算及び条例など18議案を議決しました。予算の概要をお知らせいたします。

◎補正予算 299億35百万円  
◎補正後予算 1兆1,065億29百万円

## 茨城県食の安全・安心推進条例を可決

食品等輸入者の届出の義務化(全国初)、食品関連事業者に対する立入検査、立入検査を拒んだ者への罰則等が規定されています。

また、条例の審査に当たった安心できる食の確保や提供等に関する調査特別委員会の調査結果報告書には、常井委員の次の意見が、提言として盛り込まれました。

- ①食品表示に関する監視指導業務の組織を一元化すべきである(今年4月から保健福祉部生活衛生課食の安全対策室への一元化が実現)
- ②高速道路のIC付近(旧)総合流通センター)などに本県農林水産物を大々的にアピールする大型直売所を設置すべきである。

## 国の「経済危機対策」に対応した主な補正予算

1. 中小企業融資枠拡大370→555億円
2. 県立高校100校へのデジタルテレビの買い替え  
159百万円
3. 国庫補助公共事業の追加 18,228百万円
4. 茨城県雇用創出等基金積立金 8,092百万円

## ・新型インフルエンザ対策 195百万円

- ・タミフル(抗インフルエンザウイルス薬)の備蓄量を現在の24.6万人分から3年間で58万人分へ増やす。

## 常井議員が積極推進 — 着実に進む笠間市内の道路・河川・農地整備 —

## いよいよ21年度内に、幹線道路3本開通へ!

- 国道355号石岡岩間バイパス
- 友部環状道路宿大沢線(友部小~しまむら前)
- 大洗友部線(「エリア」前~茨城中央工業団地)

### 水戸土木事務所

#### 1. 宍戸橋の架替え

- ・宍戸橋の架替えと河川改修を一体として捉えて県庁道路建設課・河川課、笠間市と協議中。

#### 2. 県道平友部停車場線の早期整備(大沢跨線橋~友部病院前: L=約1km)

- ・平成21年度は友部病院前の交差点の一部工事を市道1級12号線の整備に合わせて施工する予定。

#### 3. 県道杉崎友部線の整備

##### (1) 南友部地区の整備(L=700m)

- ・平成20年度は友部駅北口西側の道路整備(L=250m)を実施、21年度は、東側の道路整備に向けて用地補償を進める。

##### (2) 小原地区バイパスの整備(L=1.6km)

- ・平成19、20年度で創設換地分の用地を取得済。南友部地区完了後に着手する予定。

#### 4. 茨城中央工業団地笠間地区(旧名:総合流通センター)関連道路の整備促進

##### (1) 大洗友部線(茨城中央工業団地~石岡城里線「エリア」前: L=0.9km)の整備促進

- ・平成21年度内の供用を目指し舗装工事を施工予定。

##### (2) 石岡城里線バイパスの整備

- ・同地区の開発計画に合わせ、必要区間の整備を検討する。

#### 5. 国道355号石岡岩間バイパスの整備促進

- ・平成21年度内の全線開通を目指して整備する。

#### 6. 上吉影岩間線の整備促進(笠間市押辺)

- ・引き続き道路改良舗装工事を予定。

#### 7. 水戸岩間線の整備促進

- ・平成21年度は、土師地区の歩道整備工事(桜井橋側道橋の前後)を施工中。

#### 8. 南指原岩間停車場線の整備促進

- ・平成18年度に保安林の解除手続き及び民地の用地を取得済。今後は、道路整備に向けて国有林の用地を取得する。

#### 9. 国道355号笠間バイパスの整備促進

- ・現在、国道50号から石井神社までの300m区間を重点に整備中。
- ・平成21年度は、さらにJR水戸線の跨線橋工事(来栖地区)に着手する予定。

#### 10. 都市計画道路 宿大沢線街路整備事業

- ・事業の1,200m区間内、残る未供用の640m区間(友部小~しまむら前)については、補正予算など



▲水戸土木事務所の幹部職員に笠間市内の事業を要望する常井議員。右隣は、後藤和正所長。(21年6月)

により整備事業費を確保済。22年3月末完成を目標に工事発注の準備を進める。

#### 11. 笠間芸術の森公園整備事業

- ・ 21年度は、「インフォメーションセンター」と「放送施設」の整備を予定。また「あそびの杜」の園路整備も進める。

#### 12. 一級河川濁沼川の改修事業の促進《宍戸橋近辺の未改修部分の早期改修》

- ・ 道路管理者、笠間市との調整を要するため継続して協議を進める。
- ・ 当面、現橋梁への影響が出ない範囲で堆積土砂の掘削を実施し流下能力の増加を図った。(H20.1.22住民提案有り→県 H20年度に実施)
- ・ 改修延長が長く、事業が長期に渡ることから、特にネックとなっている橋梁や堰等の改築を優先的に進める。

#### 13. 一級河川濁沼川の改修事業の促進《旧笠間市街地内のふるさとの川整備事業の推進》

- ・ ふるさとの川整備事業区間を含む笠間工区の進捗率は平成20年度末で約76%（事業費ベース）
- ・ 現在、主要地方道宇都宮笠間線の笠間大橋架け替え工事を実施しており、道路管理者への負担金を支出している。
- ・ 笠間大橋の整備後、関係者の意向を精査し必要となれば柳堰の改築に着手したい。

#### 14. 濁沼前川の河床しゅんせつと堤防崩壊箇所改修継続（小原、市原地区）

- ・ 河道内の土砂堆積状況を把握し、緊急度の高い箇所から施工する。21年度は市原地区を予定。

- ・ 河岸崩壊箇所については、災害復旧制度を積極的に活用し整備する。

#### 15. 濁沼川の河川内・堤防の竹木の伐採、草刈り

- (湯崎、住吉、仁古田、上押辺、下押辺、安居地区)
- ・ 湯崎地区などは引き続き伐採を実施。
  - ・ 新規箇所については、堤外民地の権利確認と地権者の了解を得ながら順次進めていく。

#### 16. 随光寺川・桜川（上郷・下郷地区）のしゅんせつ工事の実施

- ・ 随光寺川の堆積土砂撤去については秋以降に実施する予定で地元とも調整済。
- ・ 桜川については、継続して実施しており、21年度は4月に実施済。



▲出先機関再編で、県央農林事務所となった幹部職員との勉強会。常井議員の左隣は、福田一郎土地改良部門長。(21年6月)

### 県央農林事務所 — 主な県営事業等21年度事業費

- ・ 霞ヶ浦用水Ⅲ期—不動谷津支線 120,000千円—用水路1.0km
- ・ 畑地帯総合整備—小原地区 100,000千円
- ・ ほ場整備—箱田中央 193,000千円—12ha区画整理
- ・ ほ場整備—滝川 100,000千円—19ha暗きょ排水
- ・ 中山間総合整備—南指原 50,000千円—農道600m
- ・ 農村振興総合整備—友部 202,200千円—農道1.9kmほか
- ・ 農業集落排水—友部北部 100,000千円—管路1.1kmほか

## 県立友部病院全面改築着工へ — 常井洋治議員の公約実現へ —

1. 計画地：現在の病院敷地南側
2. 延べ面積：16,812㎡  
病院本体 14,795㎡  
思春期デイケア棟 175㎡  
医療観察法病棟 1,842㎡
3. 工事費：約52億円  
本体・思春期デイケア棟 約45億円  
医療観察法病棟 約7億円
4. 病床数：287床（病院本体：270床、  
医療観察法病棟：17床）
5. 工事予定：平成21年8月中旬着工  
22年12月中旬竣工
6. 常井洋治議員が提案し、採用されたこと
  - ① 児童思春期や、うつに対応した患者にやさしい明るい病院にすること
  - ② 地元の職工さんが工事に参画できるように、県内業者が全ての工事の入札に参加可能に
  - ③ 筑波海軍航空隊の歴史的建造物である正門・号令台Aはモニュメント的なものとして保存
  - ④ 思春期デイケア棟Bの一部に病院や筑波海軍航空隊などの歴史的資料を常設展示するコーナー（約28㎡）を設置 — 県民が自由に入室可能
  - ⑤ 患者が多く訪れる外来入り口付近へ「笠間焼

レリーフ」を設置

- ⑥ 交流テラス壁面等へ「県産御影石」を使用
- ⑦ 思春期デイケア棟は木造とし、県産木材の利用を促進 — 森林湖沼環境税を活用
- ⑧ メンタルケアルーム等の床へ「県産木材フローリング」を使用
- ⑨ 桜並木を保存し、極力伐採を避けること



（新友部病院完成イメージ）

## 文教治安委員会の議論から(H21.6.12) (常井洋治委員長)

### ◎小中学校の耐震化率は、全国最低クラスの45位 笠間市は、県内16位

公立学校施設の耐震改修状況調査の結果(H21.4.1現在)

		耐震化率		
		本県	全国順位	全国平均
県内	小・中校	50.5%	45位	67.0%
	高校	62.7%	25位	67.8%
	幼稚園	33.1%	43位	60.1%
笠間市内小・中校		54.7%	県内16位	

(※耐震化率は、昭和57年以降建築棟数を含む。)

- 耐震化率100%校(笠間市内)：東小、南小、友部小、北川根小、大原小、東中、南中、友部中、友部二中

### ◎第2次県立高校再編整備基本計画(案)で笠間市を含む水戸地区(旧第2学区)で25→20校程度へ統合の方向

- 県内中学卒業者の減少 H1年3月 49,441人(ピーク)→H20年3月 29,911人 → H32年3月 25,734人見込み
- 適正規模を1学年4学級(160人)～8学級(320人)とし、77程度の学級減を見込む。適正規模の見込まれない学校の統合を検討。
- 実施計画期間は、前期(H23～25年度)、中期(26～28年度)、後期(29～32年度)とする。
- 笠間高校、友部高校とも、現在は、1学年4学級以上を維持しているが、今後生徒確保が存続の要件となってくる。

### ◎「ひったくり」、「自動車盗」が増加

- 刑法犯認知件数は6年連続減少  
H14年ピーク 67,672件→H20年 43,885件
- 「空き巣」、「忍び込み」等は、前年5月比-23.5%減少
- 「ひったくり」は、2.8倍、「コンビニ強盗」2.1倍と急増、「自動車盗」も高水準で推移
- 子どもや女性に対する「声かけ」や「変質者」等が増加傾向

## 2年連続学力テスト日本一の秋田県を調査

文教治安委員会では、平成19・20年度とも全国学力・学習状況調査(小学6年生対象、国語・算数科目)で全て日本一となった秋田県に出向き、調査を行いました。

調査先：秋田市立桜小学校 調査日：21年7月

ちなみに、20年度の同調査では、本県の全国順位は、国語Aは24位、国語Bは29位、算数Aは29位、算数Bは26位です。

秋田市の学力向上の取組みとして、次の点が印象的でした。

- ①家庭での生活習慣をしっかりさせて、それを受けて学校で育てる。
- ②「復習」を学習習慣として徹底させる。
  - ・家で復習をする子の割合 — 秋田市80%、全国40%
- ③コミュニケーション能力を向上させるため、「ことばのひろば」を開いている。
- ④地域の教育力を重視 — 地域の人の授業参観日を設定。



## 写真で見るとこい洋治 活動記録

県畜産試験場跡地への医科系大学誘致を推進する「大学誘致を進める会」の署名は約3,000に達した。青木豊会長、大東秀夫副会長は、古田県病院事業管理者と意見交換をした。(21年7月)



▲友部環状道路宿大沢線の開通に合わせて、生活道路の交通安全のために大沢中一区長の吉成貢さんが、信号機設置を要望。菊池誠笠間警察署長、後藤和正水戸土木事務所長に要望書を提出。(21年5月)



▲あおい会では、永井秀雄県立中央病院長を講師に招いて研修会を実施した。院長のユーモアで中央病院を一層身近に感じた。(21年4月)



▲笠間市長杯中学生野球大会では、熱戦が繰りひろげられた。(21年5月)



▲NPO法人ボイス社は、知的障害者が自立を目指して働いている。皆なんと進めてきた新社屋落成式で、常井議員も感無量。社員は喜びの抱負を語った。(左)社屋(右)の隣のハウスでトビーを生産販売している。(21年5月)



▲友部商工会(赤津征会長さん)で、国や県の緊急経済対策を説明する常井議員。(21年5月)



▲弁天町での「道の市」では、昔走っていた人車の模型(右側)にも人気が集まった。(21年6月)



▲友部地区のグラウンドゴルフ大会(宇田卓司会長さん)には、400人近い元気高齢者が参加した。暑さも吹き飛ばすナイスショットにびっくり。(21年5月)



▲筑波海軍航空隊慰霊の集いでは、元隊員の高齢化が目立った。新友部病院内へ、同隊の歴史を展示するスペースができることを常井議員から報告し、皆さんに喜ばれた。(21年6月)